

## 単元名 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう

配当時間 11 時間

- 単元の目標 (1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使ったり、比喻や反復などの表現の工夫に気付いたりすることができる。
- (2) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えたり、引用や図表、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができる。
- (3) 構成を工夫してパンフレットを作ろうとする。

## 標準的な展開例

06010211\_001

【教材名】『鳥獣戯画』を読む／調べた情報の用い方／日本文化を発信しよう

(P. 141～P. 157)

【準備等】知多の友、本、新聞、画用紙などの清書用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「『鳥獣戯画』を読む」の範読を聞き、学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>★筆者の見方や表現の工夫を捉え、日本の文化を説明しよう。</p> <p>○教科書 (P. 141) で教材文やリード文から日本文化に対するイメージを広げる。</p> <p>○教科書 (P. 142) の4行目までを聞き、絵を見て気付いたことを話し合う。</p> <p>○「『鳥獣戯画』を読む」の範読を聞き、感想を書く。</p> <p>○学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2～4 「『鳥獣戯画』を読む」を、絵と文章を照らし合わせながら読み、感想や考えをまとめる。</p> <p>○教科書 (P. 150～151) を読み、学習の方法を確認する。</p> <p>○文章と絵を照らし合わせながら、教材文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵全体の中でどの部分を取り上げているか。</li> <li>何に着目しているか。</li> <li>どのようによくと考えているのか。</li> </ul> <p>○「絵」と「絵巻物」について筆者の見方を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者がどのように説明しているか。</li> <li>どう評価しているか。</li> </ul> <p>○筆者が自分の見方や考え方を伝えるために、どのような表現や構成の工夫をしたかをまとめる。</p> <p>○教科書 (P. 151) 「たいせつ」を読み、筆者の考えと表現の工夫について学んだことを振り返る。</p> <p>5～6 題材を決め、パンフレットづくりの構想を立て、決めた題材について調べる。</p> <p>○文章の読み手確かめて、グループで題材を決める。</p> <p>○どんなパンフレットを作るか構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読んでもらう相手や目的</li> <li>パンフレットの大きさ、形、分量など</li> <li>取り上げる題材や伝えたい思いやよさ</li> </ul> <p>○取材方法について知り、決めた題材について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元は「知多の友」に掲載されているので十分に活用したい。</li> <li>絵を見て、想像したことや発見したこと、感じたことなど自分の捉え方を明確にさせる。</li> <li>筆者の見方と自分の見方を比較して考えようとする態度をもたせる。</li> <li>範読を聞かせる前に、筆者がこの絵の何を、どのように感じているのかについて注意して聞くよう、聞く観点を示す。</li> <li>難語句は、教師が解説を加えながら読んでいく。</li> <li>筆者の見方を捉え、自分が新しく知ったことや見方が広がったと思うことについて、考えをまとめて発表することを知らせる。</li> <li>観点ごとに絵と文章を対応させながら読んでいくことを確認させる。</li> <li>「絵」と「絵巻物」に対する筆者の評価が分かる表現を押さえる。</li> <li>論の展開、表現の工夫、絵の示し方の点から筆者の表現の工夫について考えさせる。</li> <li>文の横に線を引かせ、それに対応する絵を同じ色の線で囲ませるなど、視覚的に分かりやすくさせる。</li> <li>形、大きさ、色、格好の他にも、表現や気持ちに着目させてもよい。</li> <li>【評】事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>筆者の評価が表れている表現に線を引かせる場合、前出の線と区別させるため、色や線の種類を変えさせたりするとよい。</li> <li>筆者の評価に対して、自分が絵を見て感じることを比べながら考えさせ、ノートにまとめさせる。</li> <li>【評】教材文の比喻や反復などの表現の工夫を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>「日本文化」についての題材を考える。</li> <li>グループで話し合い、題材を決め、決まったことを整理させる。</li> <li>知多の友 (P. 33) を活用する。</li> <li>本や新聞、インターネットなどを活用して、</li> </ul>

- ・実際に行ってみて、写真を撮る。
- ・詳しい人に話を聞く。
- ・別の人が書いた文章を読んだり、撮ってきた写真や集めた資料を見たりする。

7～8 役割分担や割り付けを決め、下書きを書く。

- 目的に応じてパンフレットの構成を考える。
  - ・表紙、題名、目次、裏表紙など
- 選んだ材料から目的に応じて構成を決め、ページを分担する。
  - ・見出し、リード文、写真や絵、解説
  - ・インタビューの様子 など
- 割り付けを考える。
- 下書きを書く。

- 下書きをグループで読み合い、話し合っ、よいところや書き直すところを意見交換する。

9～10 清書し、パンフレットを完成させる。

- 知多の友に書いた割り付けや下書きを基に、パンフレットを書く。
  - ・見出し文やリード文を書く
  - ・写真を貼る
  - ・解説の文を書く など
- 記事を清書して、パンフレットを完成させる。

11 各グループのパンフレットに対する感想を伝え合い、学習を振り返る。

- 自分の作品の意図を書く。
- 友達とパンフレットを読み合い、学習を振り返る。

情報を集める。

- ・教科書（P.152）を参考に、引用の仕方や出典の示し方、著作権の尊重について確かめる

- ・休日を利用し、実際に見に行ったり、写真を撮ったりしてもよいことを知らせる。
- ・取材したことについては、知多の友（P.34～35）に記録させる。

- ・集めた情報や材料を整理し、パンフレットに使いたいものを選ばせる。
- ・知多の友（P.36）を活用する。
- ・知多の友（P.37）を活用し、グループで話し合い、構成を決め、分担させる。

- ・知多の友（P.38）を活用する。
- ・難しい語句については、国語辞典などを使って調べ、分かりやすい言葉に言い換えさせる

- ・知多の友（P.39）を活用する。
- 【評】調べた内容から引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・知多の友（P.40）を活用する。

- ・何種類かの大きさの画用紙を用意し、構想に合った用紙を選ばせる。

- 【評】見通しをもって必要な情報を集めたり、効果的に伝わるように工夫してパンフレットを作ったりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・意見交換を生かして、パンフレットを作成させる。

- 【評】パンフレットを書く活動を通して、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う「知識・技能」を評価する。

- ・工夫されていると感じた表現や絵・写真の使い方、今後に生かしたいことなどを伝え合わせるようにする。
- ・知多の友（P.41）を活用する。
- ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。

【 備 考 】